

(報道資料)

若者に喝!! 還暦世代がニッポンを斬る!

「今のニッポンを斬る!考える!」「社会保障を考える」

「60歳の主張」入賞者決定

全国老人福祉施設協議会(会長:中村博彦)では、過日、平成16年1月12日(成人の日)千代田区・灘尾ホールにおいて、「60歳の主張」入賞者の発表/表彰式が行われました。

本会は、過日全国よりご応募いただきました中から、厳正なる審査を経た**還暦を迎えた60歳の皆さん**から、**重ねた年齢にふさわしい自由闊達、そして頑固一徹な<ご意見・ご提言>**を全国に向けて主張していただいたものです。

今、日本は長引く不況や少子化にともなう年金、医療、介護など社会保障への不安が増しつつあり、高齢社会を取り巻く現状には言うまでもなく厳しいものがあります。毎年1月の成人の日に「20歳の主張」というイベントが各地で行われていますが、本当に耳を傾けるべきは、今日の平和で豊かな国づくりの一端を担ってきた還暦世代の声なのではないでしょうか。

本企画は、ともすれば最近「年配者」が「若いモン」に対して遠慮をしている風潮、また企業組織においては「後進に道を譲る」というケースが増えている中、**頑張りこそ美学として生きてきた50年代以前の人々の価値観をもう一度見直し、今日の日本を築いてきた世代から若い者への智慧の継承作業を行なおう**と開催いたしました。発表表彰式の会場は一般の聴講希望者約250名で満席となり、入賞者がステージで語る「60歳の主張」に熱心に耳を傾けていました。

当日の審査員による厳正なる審査の結果、下記のとおり入賞者が決定し、入賞者には表彰状と賞金が授与されました。概要及び入賞者の主張要旨・略歴等は別紙の通りです。

<概要>

主 催：全国老人福祉施設協議会

日 時：平成 16 年 1 月 12 日（成人の日）13 時～15 時 30 分
「60 歳の主張」発表
パネルディスカッション
表彰式

会 場：全社協・灘尾ホール（東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル）

公募対象：平成 15 年 1 月 1 日～12 月 31 日）に満 60 歳を迎える男女
第 1 回目の為、61 歳以上も公募可とする。

応募テーマ：「今のニッポンを斬る！考える！」または「社会保障を考える」

公募期間：平成 15 年 9 月 15 日（敬老の日）～11 月 15 日

応募データ：応募総数 576 通
：男女比 男性 463 通 女性 113 通
：テーマ比 「今のニッポンを斬る！考える！」 460 通
「社会保障を考える」 116 通
：応募地域 全国 47 都道府県、スロバキア、シンガポール、中国、
アメリカ、カナダ、スペイン、ブラジル

審査員：赤瀬川原平（作家）・阿久 悠（作家・作詞家）・田中一昭（拓殖大学
政経学部教授）

審査方法：主催者が 29 作品に厳選後、審査員による審査によって入賞者決定

パネルディスカッション

出 演：赤瀬川原平、阿久 悠、田中一昭
進 行：阿部雄輔（文藝春秋プロデューサー）

この件に関するお問い合わせは下記まで

「60歳の主張」入賞者 14名

優秀賞

小林信子（在スロバキア）60歳 「今のニッポンを斬る！考える！」「日本の失ったもの」

塚崎富男（兵庫県加古郡播磨町）60歳 「社会保障を考える」「生活保護・私の場合」

特別賞

中川伊志巳（奈良県奈良市）66歳 「今のニッポンを斬る！考える！」「実と虚」

櫻井信義（埼玉県戸田市）67歳 「今のニッポンを斬る！」考える！」「涙くん さよなら」

稲垣吉彦（神奈川県川崎市）73歳 「今のニッポンを斬る！考える！」「核ストップに有効な手段を」

岡 壽磨（東京都杉並区）84歳 「社会保障を考える」「高齢者介護にロボットを」

入賞

小原 亨 60歳（神奈川県横須賀市） 「今のニッポンを斬る！考える！」

石黒 宏 60歳（長崎県福江市） 「今のニッポンを斬る！考える！」「どっこい、農業は生きている」

長田多美子 60歳（兵庫県津名郡津名町） 「今のニッポンを斬る！考える！」

長 洋 60歳（神奈川県横浜市） 「社会保障を考える」

佐々木誠二 66歳（大阪府豊中市） 「今のニッポンを斬る！考える！」「ローン生活との決別」

橋場 信 65歳（千葉県習志野市） 「今のニッポンを斬る！考える！」

「漂流する日本農業 誰が次代の農業を担うのか」

西村方夫 62歳（在シンガポール） 「社会保障を考える」85歳

土橋嘉昭 85歳（奈良県敷島町） 「社会保障を考える」